

安全データシート CYCLOFRESH 00928

1. 製品および会社情報

製品名 CYCLOFRESH 00928

会社名 フレグランス・コンタクト S. A.

住所： 40 RUE DE BOISSY 95320 SAINT LEU LA FORET FRANCE

担当部署： 製品保証部

電話番号： 33-1-3418-8303 FAX 番号： 33-1-3418-8303

緊急時連絡及び記載内容問合せ先：

株式会社ネオネクリエーション TEL 0551-45-9811 FAX 0551-45-9812

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2A
水生環境急性有害性	: 区分 2
水生環境慢性有害性	: 区分 2
引火性液体	: 区分 4
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2
皮膚感作性	: 区分 1

【GHS ラベル要素】

注意喚起後：警告



危険有害性情報

可燃性液体

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

強い眼刺激性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

皮膚接触により感作性症状を引き起こす可能性

注意書き

[安全対策 (予防策)]

火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。

換気の良い場所で使用し、揮発成分の蒸気（ベーパー）・粉じんの吸入を極力避けること。
保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。
取扱い後は充分手洗いすること。
妊娠中・授乳期中は接触を避けること。

[応急措置 (対応)]

皮膚や衣服に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
多量に吸入し気分が悪くなった場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状に応じて医師に連絡すること。
眼や皮膚の刺激又は発しんが生じた場合や吸入し気分が悪い場合は、医師の診断・手当てを受けること。
露出物を回収し、環境への放出を避けること。

[保管 (貯蔵)]

換気のある冷暗所（又は指定の場所）に密閉して適切に保管すること。

[廃棄]

残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

一般名：香料

成分および含有量

成分名	CAS No.	含有量	化管法
レメントール	2216-51-5	20-25%	
ガラクソリド (IPM)		10-15%	
リナリルアセテート	115-95-7	10-15%	
メチルジヒドロジャスモネート	24851-98-7	10-15%	
カンファー	76-22-2	5-10%	
ジミルセトール	18479-58-8	5-10%	
テルピニルアセテート	80-26-2	5-10%	
シトロネリルニトリル	51566-62-2	0-5%	
シクロガルバネート	68901-15-5	0-5%	
アリルアミルグリコレート	67634-00-8	0-5%	
β -イオノン	14901-07-6	0-5%	
酢酸ベンジル	140-11-4	0-5%	
ボルネオール	507-70-0	0-5%	
C8 アルデヒド	124-13-0	0-5%	
C10 アルデヒド	112-31-2	0-5%	
cis-3-ヘキセノール	928-96-1	0-5%	
cis-3-ヘキセニルアセテート	3681-71-8	0-5%	
カンフェン	79-92-5	0-5%	
カリオフィレン	87-44-5	0-5%	
シトロネリルアセテート	150-84-5	0-5%	

シクラメンアルデヒド	103-95-7	0-5%
エチルリナロール	10339-55-6	0-5%
シネオール	470-82-6	0-5%
ヘリオナール	1205-17-0	0-5%
リナロール	78-70-6	0-5%
ミルセン	123-35-3	0-5%
イソEスーパー	54464-57-2	0-5%
フェニルエチアルコール	60-12-8	0-5%
ターピネオール	98-55-5	0-5%
バニリン	121-33-5	0-5%
α -ピネン	80-56-8	0-5%
cis-3-ヘキセニルサリシレート	65405-77-8	0-5%
dl-リモネン	5989-27-5	0-5%
p-サイメン	99-87-6	0-5%

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体の保温に努める。

被災者が意識を失っている場合は、口中の異物を取り除く。

被災者の呼吸が止まった場合は、速やかに人工呼吸を行う。

応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：石けんで充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。

必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合：直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。

コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合：口をすすぎ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。

無理に吐かせてはいけない。

被災者に意識がない場合には、口から何を与えてもいけないし、吐かせようとしてもいけない。

応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化剤：水噴霧、乾燥砂、粉末消火剤、泡沫消火剤等。

特有の消化方法：消火剤を火元へ放射、散布等をして消化する。

消化作業は可能な限り風上から行う。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。

火災発生場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。

消化を行う者の保護：消化作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

作業の際、吸入や皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。

環境に対する注意事項：

飛散した製品が風雨等で河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法及び機材：

飛散したものは静かに掃き集めるなど回収し、紙袋またはドラム等に入れた後、安全な場所に保管し廃棄処理する。

二次災害の防止策：

付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。

安全取扱注意事項：

火気厳禁。電気機器類、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。

ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。

蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。

取扱い後は充分に手洗いする。

保管

安全な保管条件：

適切な換気のある乾燥した冷暗所（又は指定の場所）に密閉して適切に保管する。

消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度：

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH (TWA) ACGIH (STEL)
酢酸ベンジル			10ppm
α-ピネン			20ppm

設備対策：取扱いの際は、設備の密閉化又は局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具：呼吸用保護具

手の保護具：保護手袋

眼の保護具：保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：保護服（長袖作業服等）

9. 物理的及び化学的性質

外観

形状：液体

色：無色

臭い：カンファー様のフレッシュな香気

沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし

引火点：87℃（タグ密閉式）

燃焼又は爆発範囲の上限・下限：データなし

蒸気圧：データなし

比重 : 0.930±0.02 (d20/20℃)
自然発火温度 : データなし

10. 安定性および反応性

化学的安定性 : 通常の条件下では、安定で、自己重合性はない。
反応性 : 通常の条件下では、反応性はなし。
危険有害反応可能性 : 特記すべき反応性はなし。
避けるべき条件 : 特記すべき条件はなし。
混触危険物質 : 特記すべき物質はなし。
危険有害な分解生成物 : 自己分解により有毒ガスを発生することはない。

11. 有害性情報

成分名	有害性情報
Ｌ-メントール	急性毒性(経口)(区分5) 眼損傷性/眼刺激性(区分2A) 水生環境有害性(急性)(区分3) 皮膚腐食性/刺激性(区分2)
ガラクソリド IPM リナリルアセテート	水生環境有害性(急性)(区分1) 水生環境有害性(長期間)(区分1) 眼損傷性/眼刺激性(区分2A) 水生環境有害性(急性)(区分3) 皮膚腐食性/刺激性(区分2)
メチルジヒドロジャスモネート カンファー	水生環境有害性(急性)(区分3) 皮膚腐食性/刺激性(区分3) 急性毒性(経口)(区分4) 急性毒性(吸入)(区分4) 特定標的臓器毒性(単回ばく露)(中枢神経系 呼吸器 腎臓)(区分2) 水生環境有害性(急性)(区分3)
ジミルセトール	急性毒性(経口)(区分5) 皮膚腐食性/刺激性(区分3) 眼損傷性/眼刺激性(区分2A) 水生環境有害性(急性)(区分3)
テルピニルアセテート	皮膚腐食性/刺激性(区分3) 水生環境有害性(急性)(区分2) 水生環境有害性(長期間)(区分2)

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性) : 区分2
水生環境有害性(長期間) : 区分2
生態毒性 : 混合物としての知見なし
残留性・分解性 : 混合物としての知見なし
生体蓄積性 : 混合物としての知見なし
土壌中の移動性 : 混合物としての知見なし
オゾン層への有害性 : 混合物としての知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
汚染容器及び包装 : 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国内規制
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。

航空輸送 : 航空法等に定められている輸送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

: 容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。

: 火気厳禁とする。

緊急時対応措置指針 : 指針番号 130

国際規制

国連番号 : UN3082

国連輸送名 : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (GALAXOLIDE 1PM)

国際規則 : IMDG、IATA の規則に従う。

国連分類 : クラス 9 (その他の有害性物質)

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 危険有害化学物質等

特定危険有害化学物質等

引火性の物

消防法 : 危険物第四類 第3石油類 危険等級III

船舶安全法 : その他の有害性物質

16. その他の情報

参考文献

- 1) 産業衛生学会誌 (2013 年度版)
- 2) Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices (ACGIH) 2013 年度版
- 3) 香料の GHS 対応の手引き (改訂 2 版) 日本香料工業会
- 4) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果
- 5) 香料の表示指針 (2013 年版) 日本香料工業会
- 6) IFRA-IOFI Labeling Manual 2013

記載内容の取扱いについて

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。